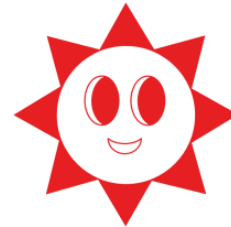


ケンコーマヨネーズ株式会社【証券コード：2915】

2026年3月期 第2四半期（中間期）

決算説明会



2025年11月27日

- 1. 2026年3月期 第2四半期（中間期）
決算概要**
- 2. 2026年3月期 業績予想**
- 3. 中長期経営計画
『KENKO Vision 2035』の進捗**
- 4. 質疑応答**

1. 2026年3月期 第2四半期（中間期） 決算概要

代表取締役社長 島本 国一

2026年3月期 第2四半期（中間期） 決算ハイライト（連結）



売上高 $\triangle 1.1\%$
 営業利益 $\triangle 39.1\%$

- ・昨年度採用されていたタマゴ加工品、サラダ・総菜類の減少
- ・商品統廃合による販売機会の減少

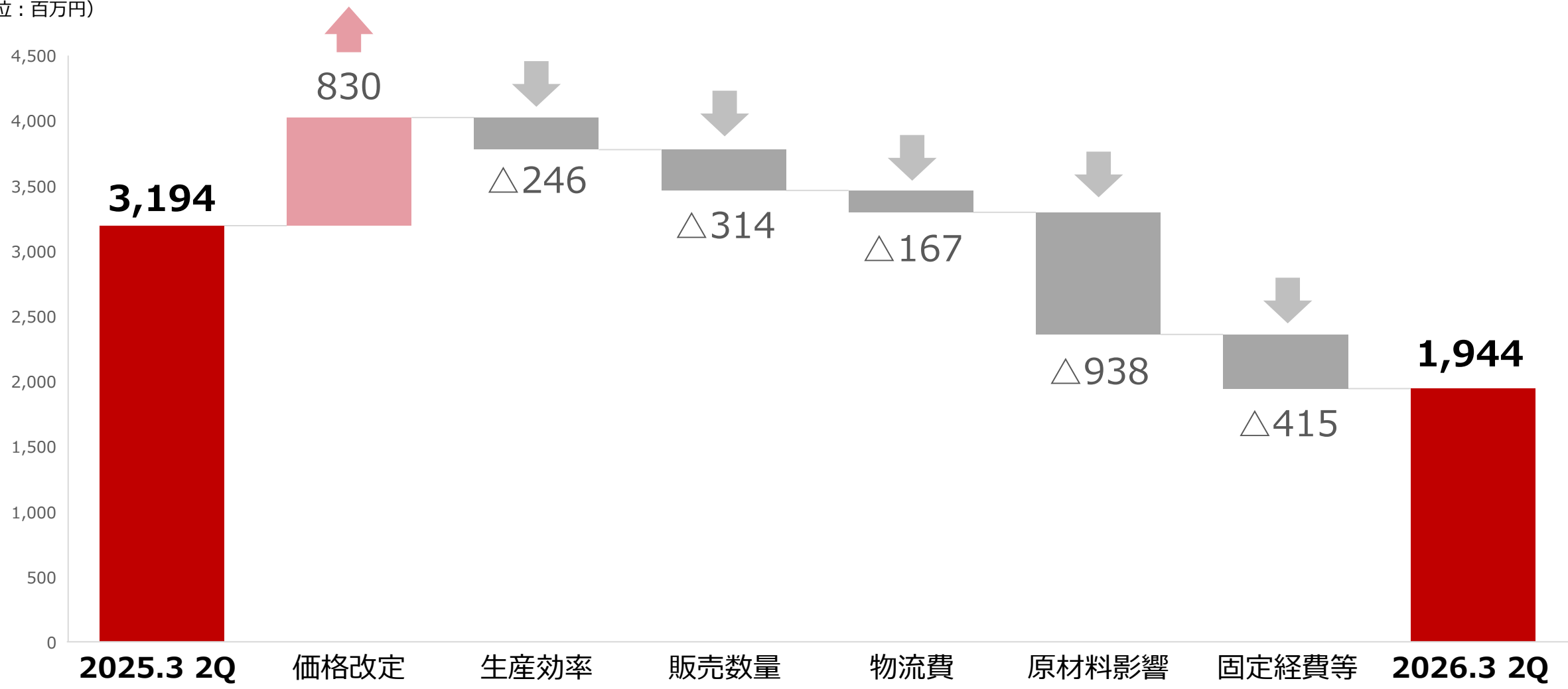
▶ 前年同期比で
減収・減益

	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	
	実績	実績	前年同期比
売上高	46,455	45,941	$\triangle 1.1\%$
売上総利益 (売上総利益率)	10,848 23.4%	10,181 22.2%	$\triangle 6.2\%$
販売費及び一般管理費 (販管費率)	7,654 16.5%	8,237 17.9%	+7.6%
営業利益 (営業利益率)	3,194 6.9%	1,944 4.2%	$\triangle 39.1\%$
経常利益 (経常利益率)	3,272 7.0%	2,004 4.4%	$\triangle 38.7\%$
親会社株主に帰属する 中間純利益	2,246 4.8%	1,245 2.7%	$\triangle 44.6\%$
1株当たり中間純利益	140円61銭	83円45銭	

(単位：百万円)

連結營業利益 増減要因 <前年同期比>

(単位：百万円)



前年同期比△1,250百万円

セグメント別実績

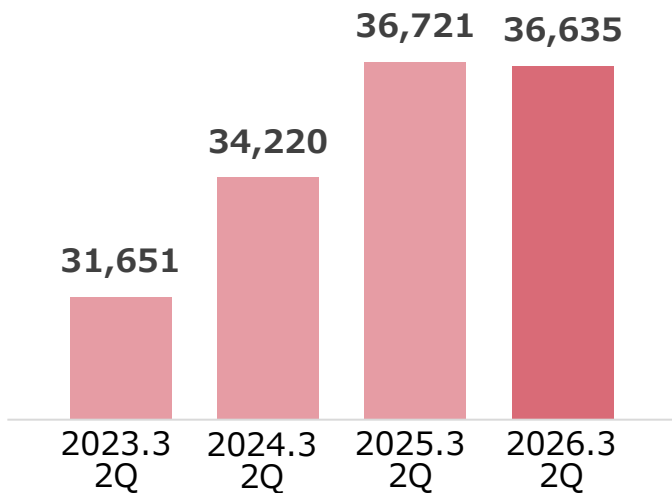


(単位：百万円)	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	前年同期比
売上高	46,455	45,941	△1.1%
■ 調味料・加工食品事業 ※ケンコーマヨネーズ本体の事業	36,721	36,635	△0.2%
■ サラダ・総菜類	10,658	10,501	△1.5%
■ マヨネーズ・ドレッシング類	13,825	13,959	+1.0%
■ タマゴ加工品	11,360	11,291	△0.6%
■ その他	876	883	+0.7%
■ 総菜関連事業等 ※連結子会社の事業	9,300	8,927	△4.0%
■ その他 ※サラダカフェ	433	378	△12.7%
セグメント利益	3,194	1,944	△39.1%
■ 調味料・加工食品事業	2,670	1,403	△47.4%
■ 総菜関連事業等	448	515	+14.9%
■ その他	1	△20	—
調整額	74	45	△38.8%

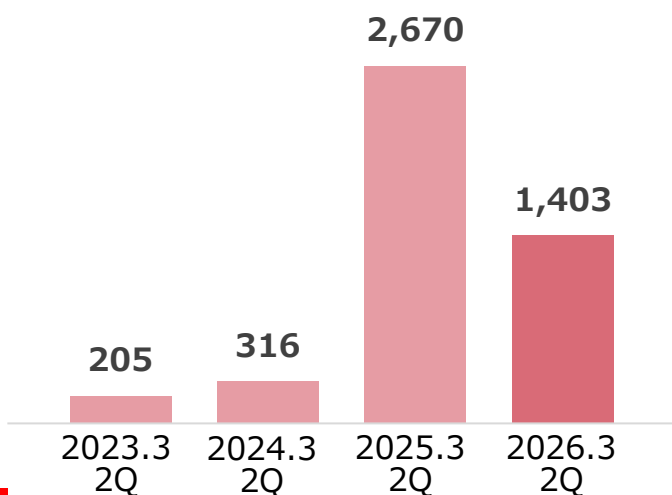
セグメント別実績 ■ 調味料・加工食品事業



■ 売上高 (単位：百万円)



■ セグメント利益 (単位：百万円)



売上高

減収
(前年同期比△0.2%)

- ・製パン、外食向けにマヨネーズ類が増加
- ・外食、CVS向けにソース類が増加
- ・外食、量販店向けにポテトサラダが増加
- ・パスタサラダやフィリング等が減少
- ・外食向けのスクランブルエッグが減少

セグメント利益

減益
(前年同期比△47.4%)

- ・コストアップと価格改定のタイムラグ
- ・鶏卵相場の高止まり、野菜価格の高騰
- ・物流費、人件費等の増加

▼商品が評価され受賞



FDF Plus®

90日間の
長期賞味期間で食品ロス
削減に貢献



第29回

第29回 業務用加工食品
ヒット賞を受賞



第55回 食品産業技術功労賞
(サステナビリティ部門) を受賞

▼7月1日発売 秋冬向け新商品



減塩商品やサラダがもっと楽しめるドレッシングなど
健康志向の高まりに応えた商品を開発

※百万円未満切り捨て

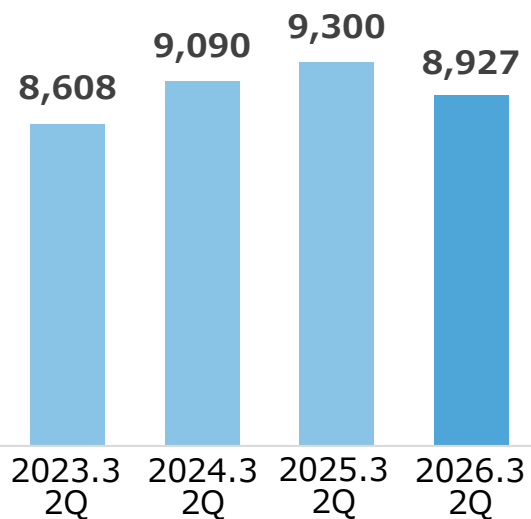
セグメント別実績

■ 総菜関連事業等

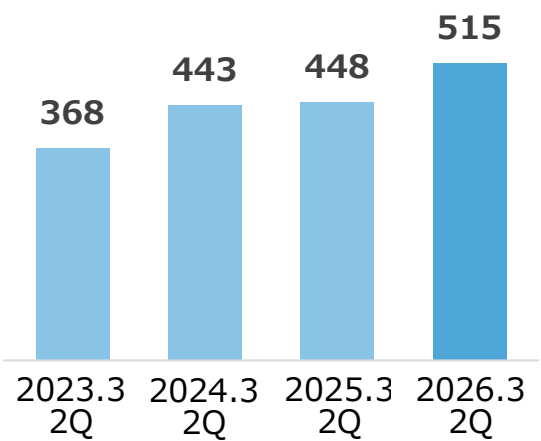
■ その他



■ 売上高 (単位: 百万円)



■ セグメント利益 (単位: 百万円)



売上高 減収
(前年同期比△4.0%)

- ・商品カテゴリーの拡大
- ・高付加価値商品の開発
- ・販売先の内製化により減収

セグメント利益 増益
(前年同期比+14.9%)

- ・価格改定の実施
- ・新規カテゴリーへの参入

▼大学生と共同開発

社会貢献の一環として学生の実践的な学びの場の提供を目指し、協業事業を展開



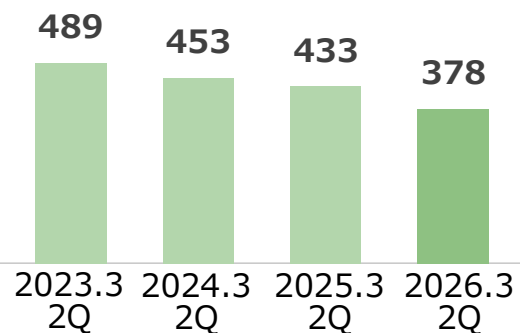
アマニ油使用！
トマトの冷製パスタ



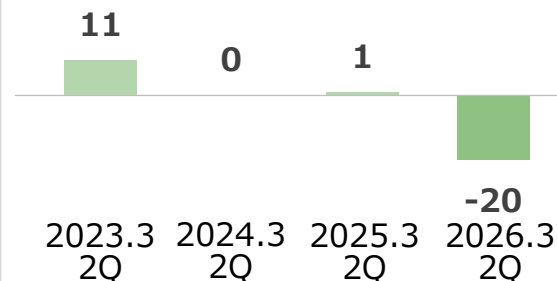
大豆ミート使用！
ビビンバ風冷製パスタ

地域連携・社会貢献活動

■ 売上高 (単位: 百万円)



■ セグメント利益 (単位: 百万円)



売上高 減収
(前年同期比△12.7%)

- ・2店舗の退店
- ・百貨店の客数減
- ・野菜価格の高騰

セグメント利益 減益

- ・経費対策、店舗対策、商品対策による仕組みの見直し

▼Salad Cafe

創業20周年 アニバーサリー企画



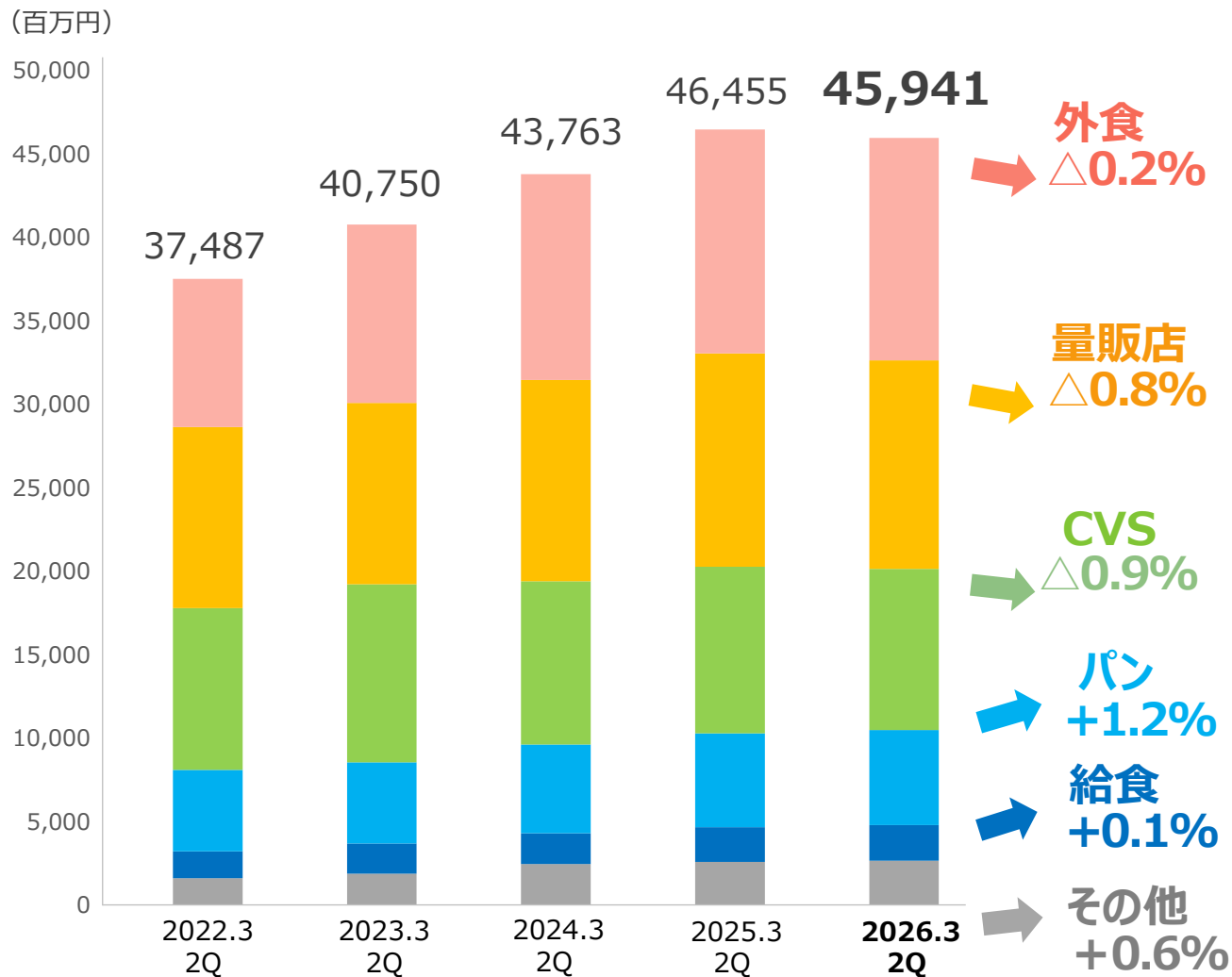
期間限定でお祝いにぴったりなサラダ4品を発売したほか、次回購入時に使えるクーポンを配布

※百万円未満切り捨て

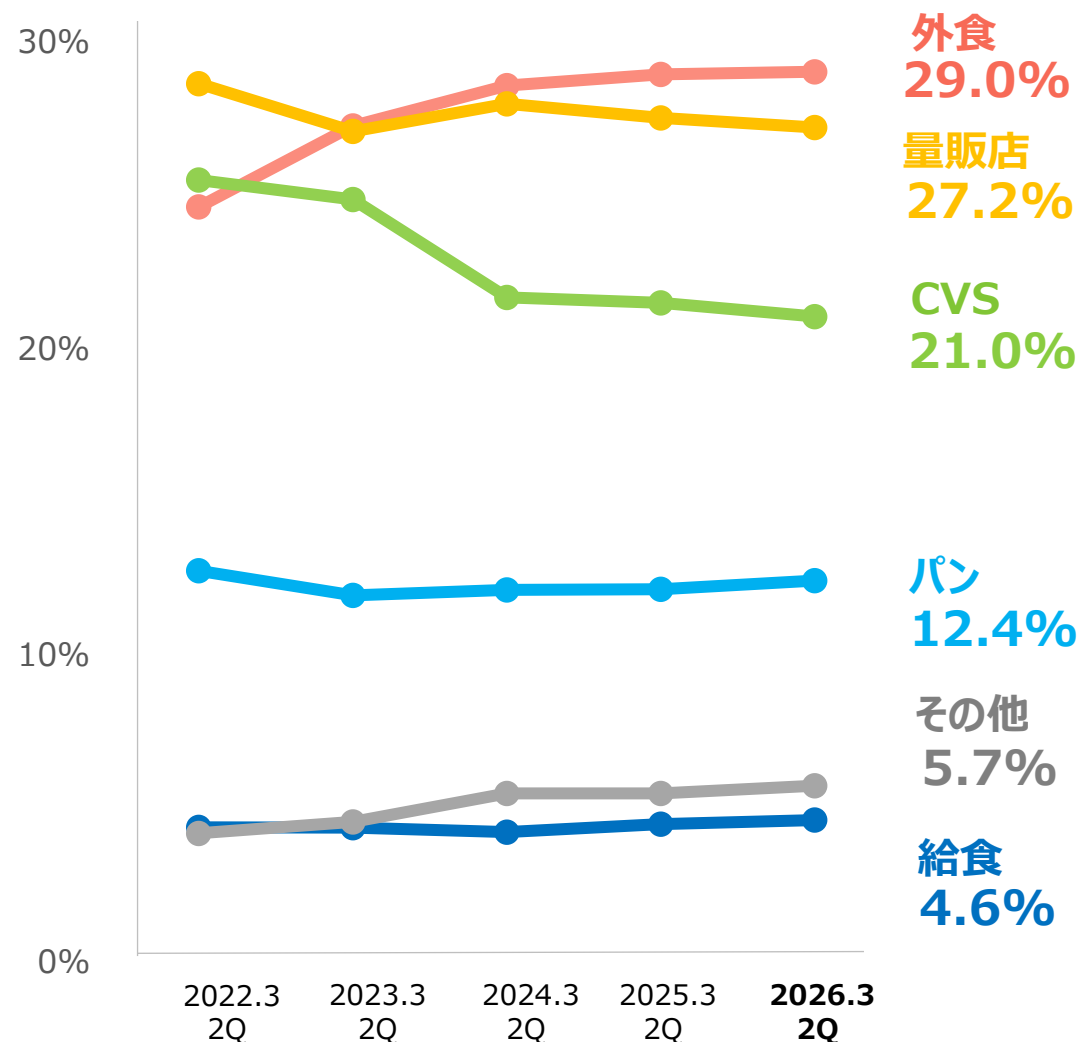
販路別売上高（連結）



販路別売上高



販路別売上高 構成比



貸借対照表（連結）



※1：長期未払金を含む（単位：百万円）

		2025年3月期	2026年3月期 第2四半期	前年度末比
資 産	流動資産	34,312	35,379	+3.1%
	固定資産	29,767	29,179	△2.0%
資産合計		64,080	64,559	+0.7%
負 債	うち有利子負債残高 ^{※1}	5,482	5,114	△6.7%
		24,116	23,688	△1.8%
純資産		39,963	40,871	+2.3%
負債・純資産合計		64,080	64,559	+0.7%
1株当たり純資産		2,678円13銭	2,735円57銭	-
自己資本比率		62.4%	63.3%	+0.9ポイント

ポイント

▼資産

- ・売掛金の増加 629百万円
- ・建設仮勘定の増加 420百万円
- ・機械装置及び運搬具（純額）の減少 646百万円

▼負債

- ・買掛金の増加 509百万円
- ・未払法人税等の減少 529百万円
- ・有利子負債の減少

キャッシュ・フロー計算書 及び 設備投資額・減価償却費 (連結)



キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)	2025年 3月期 2Q	2026年 3月期 2Q	増 減
営業キャッシュ・フロー	1,531	1,437	△94
投資キャッシュ・フロー	△488	△ 867	△379
フリーキャッシュ・フロー	1,043	569	△473
財務キャッシュ・フロー	△832	△ 728	+103
現金及び現金同等物の 中間期末残高	15,940	15,570	△369

設備投資額・減価償却費

(単位：百万円)	2025年 3月期 2Q	2026年 3月期 2Q	増 減
設備投資額合計	366	715	+348
調味料・加工食品事業	231	531	+300
総菜関連事業等	135	183	+48
その他	0	0	0
減価償却費合計	1,155	1,356	+201
調味料・加工食品事業	802	998	+196
総菜関連事業等	352	357	+5
その他	1	0	△0

営業CF

税金等調整前中間純利益による増加、
売上債権、棚卸資産による減少

投資CF

有形固定資産の取得による支出

財務CF

配当金の支払、長期借入金の返済に
よる支出

2. 2026年3月期 業績予想

2026年3月期 業績予想（連結）



売上高 +1.2%、営業利益△21.6%

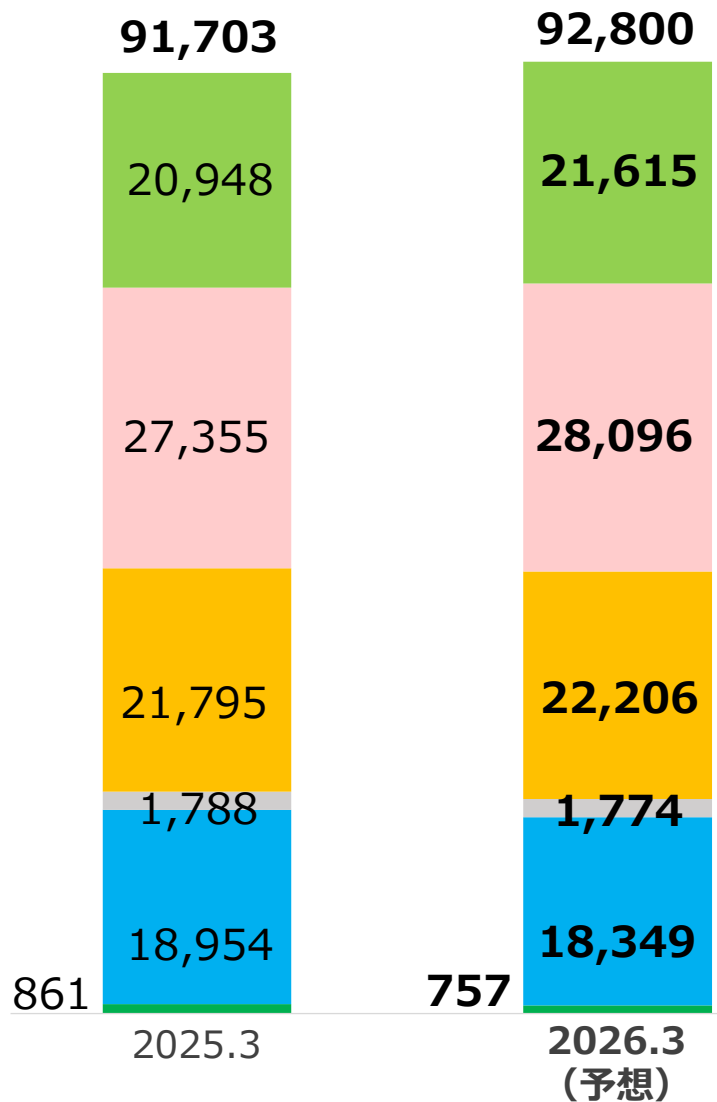
外部要因の影響による原材料費の上昇、商品統廃合による販売機会の減少

	2025年3月期 (実績)	2025年3月期 (期初予想)	2026年3月期（予想） (11月14日修正)	
	金額	金額	金額	前年同期比
(単位：百万円)				
売上高	91,703	95,500	92,800	+1.2%
営業利益	4,845	4,800	3,800	△21.6%
%	5.3%	5.0%	4.1%	
経常利益	4,999	4,970	3,950	△21.0%
%	5.5%	5.2%	4.3%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,503	3,217	2,470	△29.5%
%	3.8%	3.4%	2.7%	
1株当たり当期純利益	221円62銭	215円59銭	165円32銭	

2026年3月期 セグメント別売上高予想



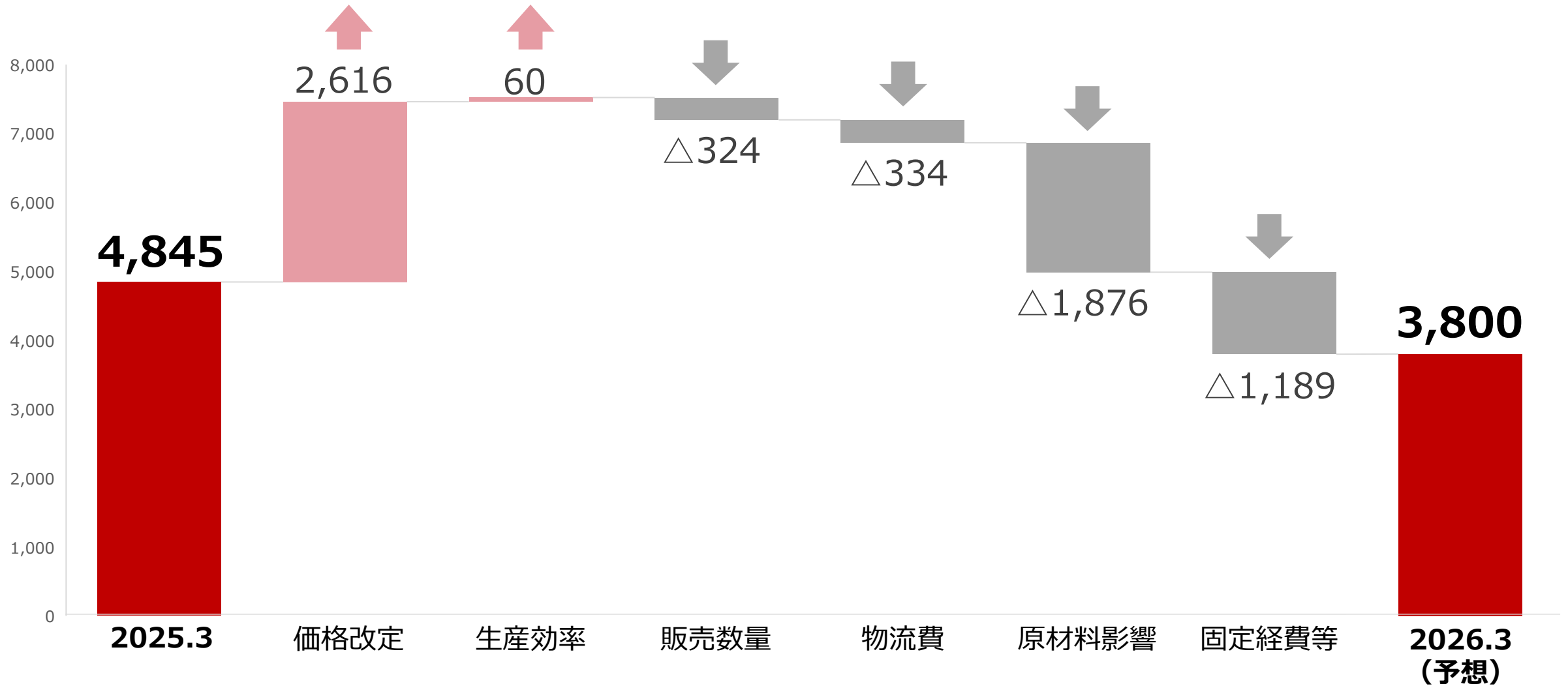
(単位：百万円)



セグメント	前年同期比	今期ポイント
■ 調味料・加工食品事業	+ 2.5%	● 価格改定のタイムラグ ● 商品統廃合による 販売機会の減少
■ サラダ・総菜類	+ 3.2%	
■ マヨネーズ・ドレッシング類	+ 2.7%	
■ タマゴ加工品	+ 1.9%	
■ その他	△ 0.8%	
■ 総菜関連事業等	△ 3.2%	● 販路先一部内製化の影響
■ その他 (サラダカフェ)	△ 12.1%	● 2店舗退店 (2025年8月、9月)

連結営業利益 増減要因 <見通し>

(単位：百万円)



前年同期比△1,045百万円

『KENKO Vision 2035』 年度別損益計画 -Phase 1-



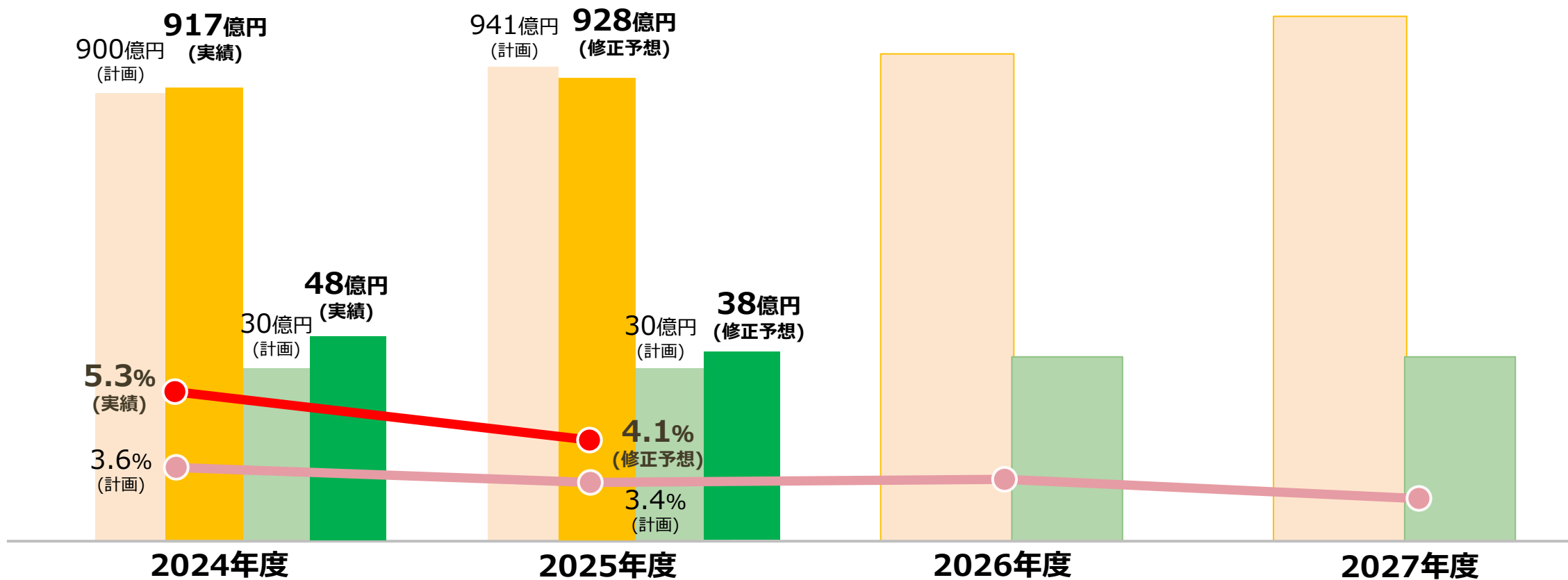
▼2024年5月公表時計画

- 売上高
- 営業利益
- 営業利益率

Phase 1 2027年度目標

売上高
1,020億円以上

営業利益
33億円以上



株主還元・配当予想



配当金
(通期)

期初予想

2024年5月13日公表
34円

業績予想修正

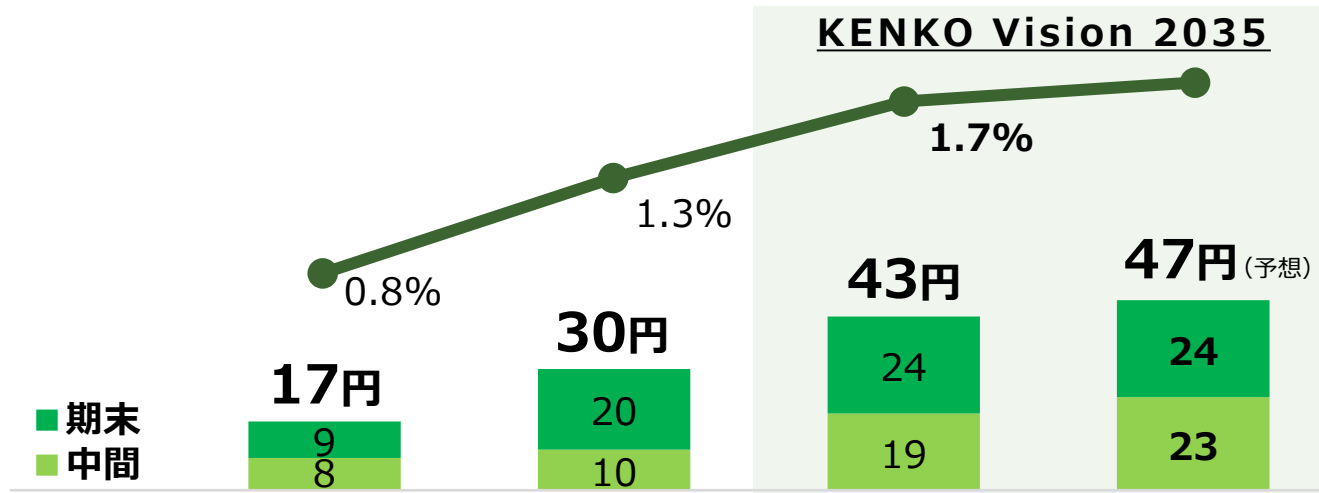
2024年8月5日公表
38円

期末確定

2025年5月12日公表
43円

2026年3月期
(予想)
47円

DOE
配当金



Phase1
(2024~2027年度)
DOE
1.5%以上(水準)

(円/株)	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期(予想)
配当金 (円/株)	17	30	43	47
配当性向 (%)	56.9	17.7	19.4	28.4
配当利回り (%)	1.41	1.49	2.31	—
株主資本配当率 (DOE) (%)	0.8	1.3	1.7	—

配当性向 = 1株あたり配当金 ÷ 1株あたり純利益 × 100

配当利回り = 1株あたりの配当金(合計) ÷ 各年3月末日時点株価(終値) × 100

株主資本配当率 (DOE) = 配当金総額 ÷ ((期首株主資本 + 期末株主資本) ÷ 2) × 100

3. 中長期経営計画 『KENKO Vision 2035』の進捗

『KENKO Vision 2035』の全体像



企業理念

(ミッション+パーパス)

守るべきもの ▶ 心身（こころ・からだ・いのち）と環境
使命 ▶ 食を通じて世の中に貢献する。

ビジョン（目指すべきもの）

『サラダ料理で世界一になる』

KENKO Vision 2035 基本戦略

成長戦略

-Growth Strategy-

スマート化

-Automation and Innovation-

KENKO Vision 2035
基本戦略

サステナビリティと 社会的責任

-Natural resource
sustainability, Social
responsibility-

人材投資

-Investment in
People-

経営基盤強化

マテリアリティの特定



成長戦略

-Growth Strategy-

- 既存事業の収益基盤強化、ブランド構築の実行
- 事業ポートフォリオを再構築し、事業環境の変化に適応

スマート化

-Automation and Innovation-

- DXを通じた企業改革と生産性の向上を図る
- 合理化、効率化、成長するための事業拠点の再編

人材投資

-Investment in People-

- グローバル企業化、働き方改革としてのダイバーシティを推進
- 人材育成の強化、キャリアプランが実現できる施策の検討

サステナビリティと社会的責任

-Natural resource sustainability,
Social responsibility-

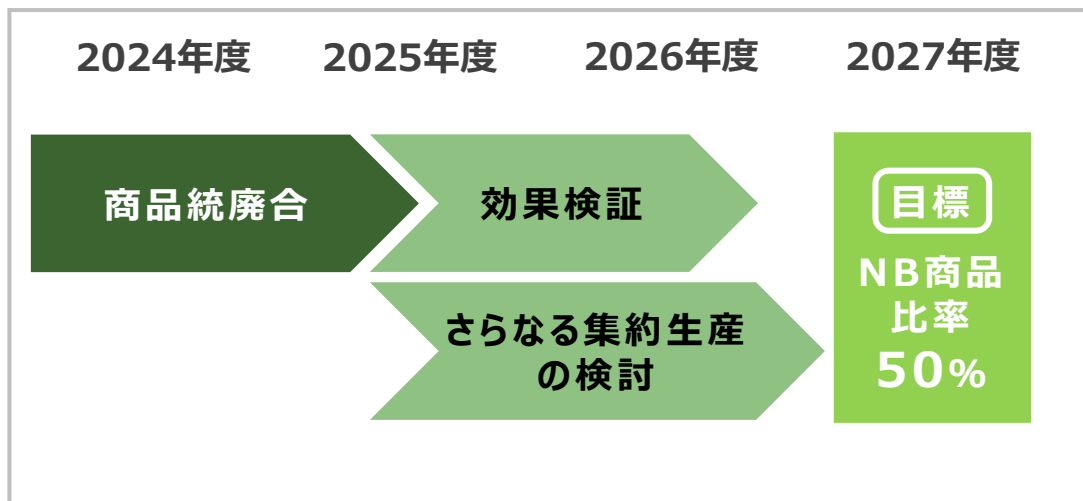
- 環境問題への取組みと地域社会への貢献活動を推進
- グループ従業員の健康と働きがいに注力した健康経営を目指す

基本戦略 (1) 成長戦略 ① -Growth Strategy-



商品統廃合

生産効率向上によるコスト削減



商品統廃合の効果

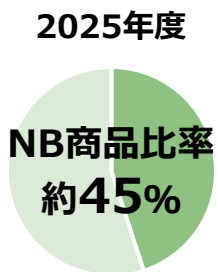
業務効率の向上

- ・品種切り替え回数 ↓
- ・原料・資材の品種数 ↓
- ・流通在庫管理の商品数 ↓

歩留まり改善

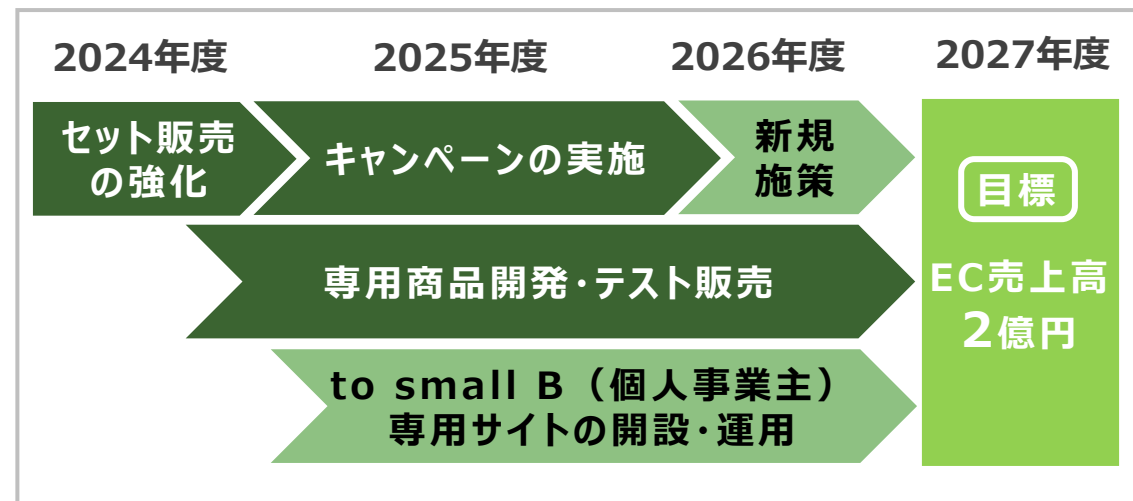
効果額 6億円を計画 (期初)

NB商品比率



EC事業

公式通販サイトを開設



セット販売の強化

セットでご購入いただき
初めての商品も知ってもらう機会に



スパウトパウチ商品の発売

POINT

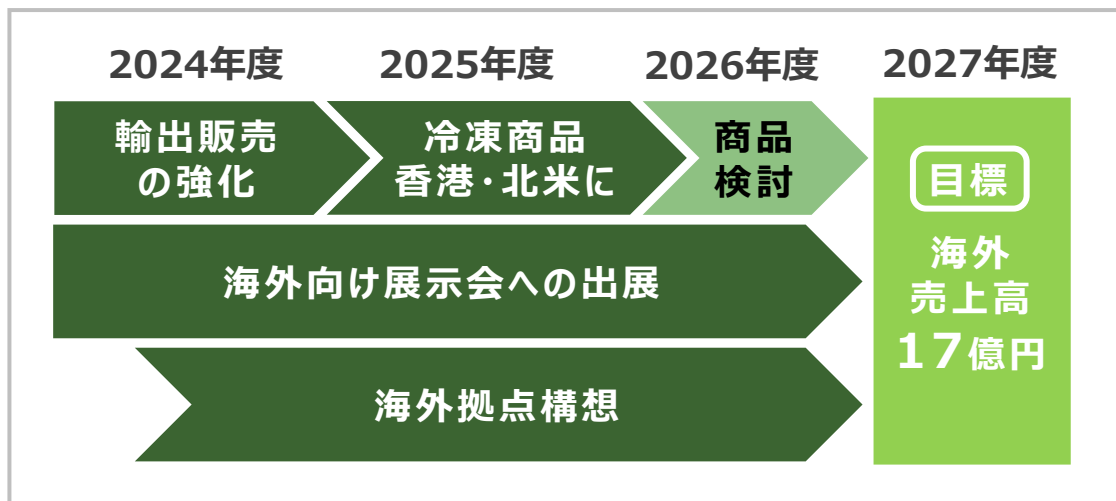
- ・ご家庭で使用しやすいサイズ
- ・配送料の軽減・廃棄物削減



基本戦略 (1) 成長戦略 ② -Growth Strategy-



海外戦略



輸出販売の強化

冷凍・和惣菜
ブランド

WABI-DELI



WABI-DELI
花がんもの含め煮

POINT

- ・小容量で無駄なくお使いいただける
- ・和惣菜カテゴリーの拡充ができる

海外向け展示会

2025年

7月 輸出EXPO(SUMMER)2025

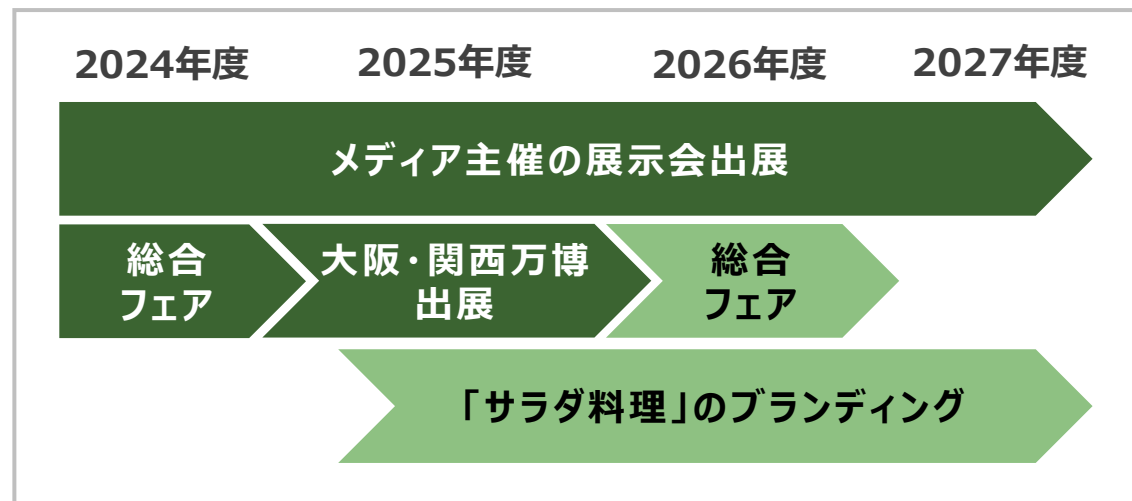
8月 Food Expo PRO 2025 (香港)

9月 NY Sake & Food Expo 2025



ブランディングの強化

一般メディア・展示会を通じて
企業ブランド力の向上を目指す



大阪・関西万博

～サラダ料理で育む未来～

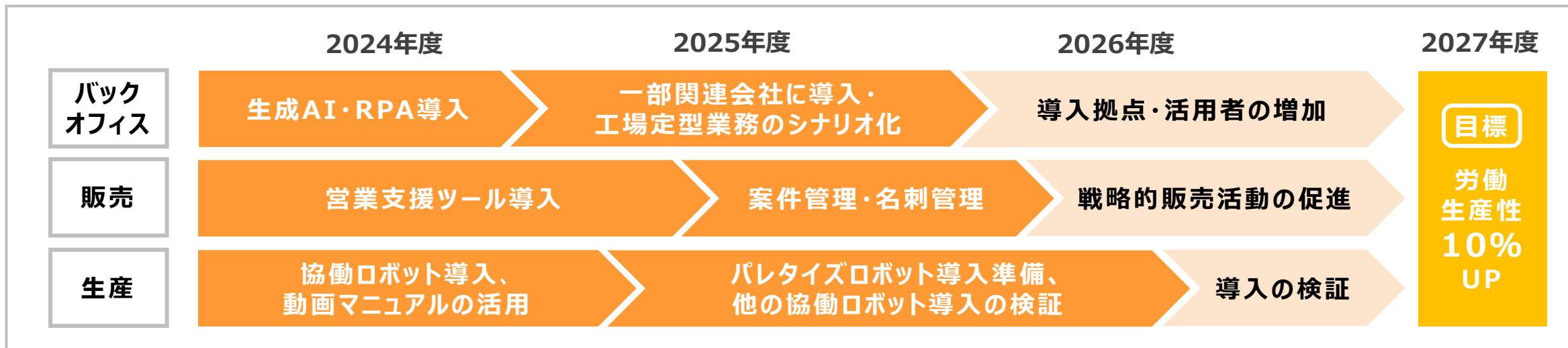
いつものサンドイッチを「サラダ料理」に！
和惣菜を使った和のサンドイッチ

『和Oh!!SANDWICH』のサラダ料理教室を開催



※「和Oh!!SANDWICH」はケンコーマヨネーズの商標です。

DXの推進



DX推進のためのDXビジョンの策定

DXビジョンメッセージ

デジタル技術で
ビジネスプロセスを変革する

デジタル技術で
サラダ料理の新たな
ビジネスモデルを創造する



営業支援ツール

8月～
商談記録の運用開始

POINT

- ・業務の平準化・効率化
- ・提案機会を増やすための時間の確保

協働ロボットの導入

パレタイズロボット

POINT

- ・省人化
- ・不可の大きい作業の改善

西神戸工場

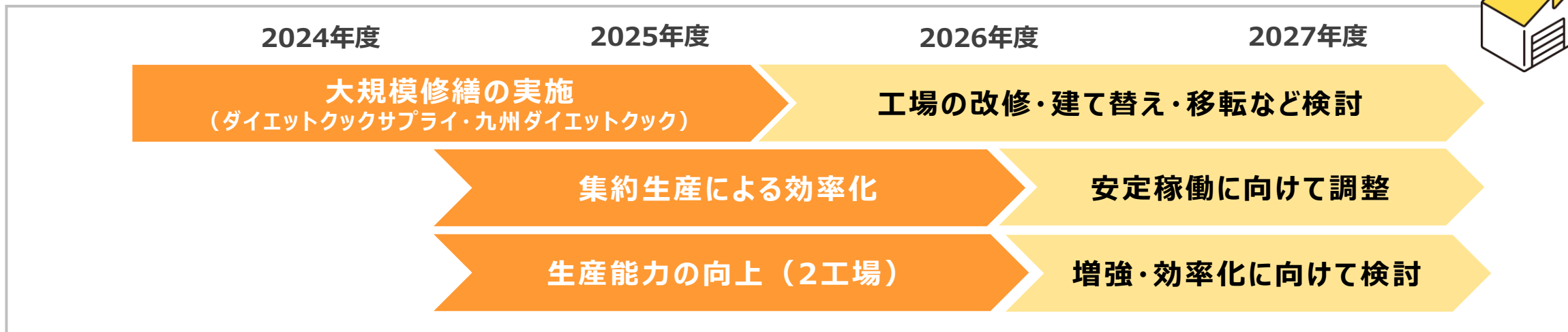


西日本工場で
11月から稼働

基本戦略 (2) スマート化 ② -Automation and Innovation-



事業拠点の再編



集約生産による効率化

目的

- ・グループ内の生産性最適化
- ・設備老朽化対応

投資額

約2.5億円

関東ダイエツエッグ
会津若松工場 閉鎖
2026年3月閉鎖予定



静岡富士山工場へ集約
約2割移行済み

集約生産によるコスト低減 約2.8億円/年

生産能力の向上

目的

- ・生産能力増強
- ・設備老朽化対応
- ・2拠点生産による稼働の平準化と商品の安定供給

投資額 約26億円

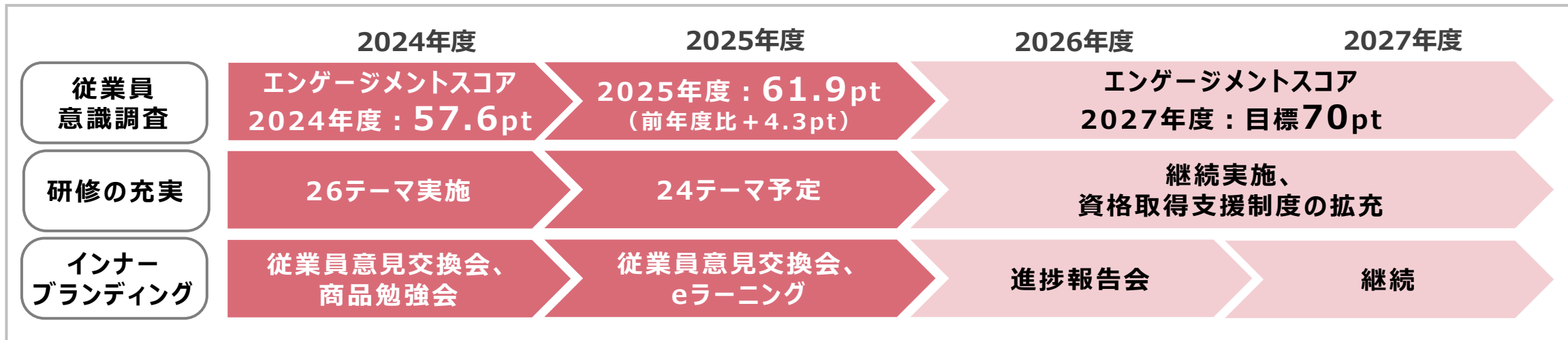
山梨工場 増強



西日本工場 小型容器
ソースライン
新設

投資による営業キャッシュ・フロー 約2.5億円/年

基本戦略 (3) 人材投資 -Investment in People-



東京本社移転

東京本社

お客様との接点拡大と
提案力強化による
価値の創出



東京都
千代田区
麹町

2026年2月予定

事業開発本部 (研究部・開発部)・品質保証室

研究開発のレベルアップ

東京都江東区新木場



2026年10月予定

従業員意見交換会



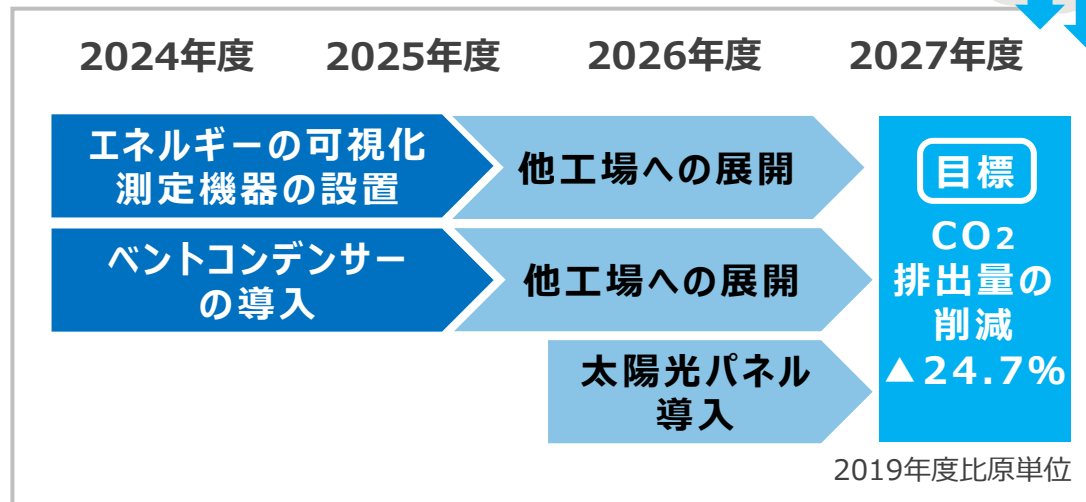
中長期経営計画のより理解の深堀り
自分の業務とのつながりの理解

基本戦略 (4) サステナビリティと社会的責任 ①

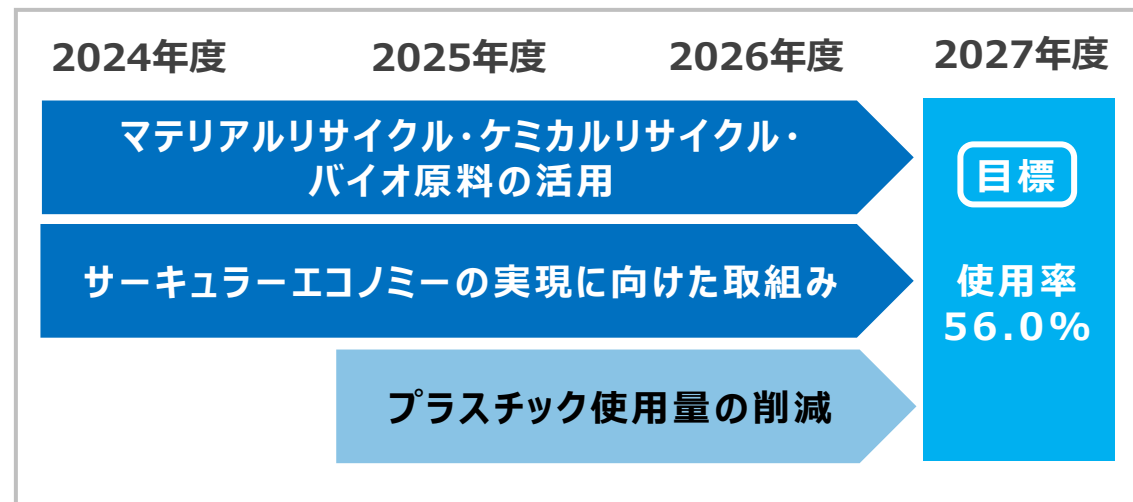
-Natural resource sustainability,
Social responsibility-



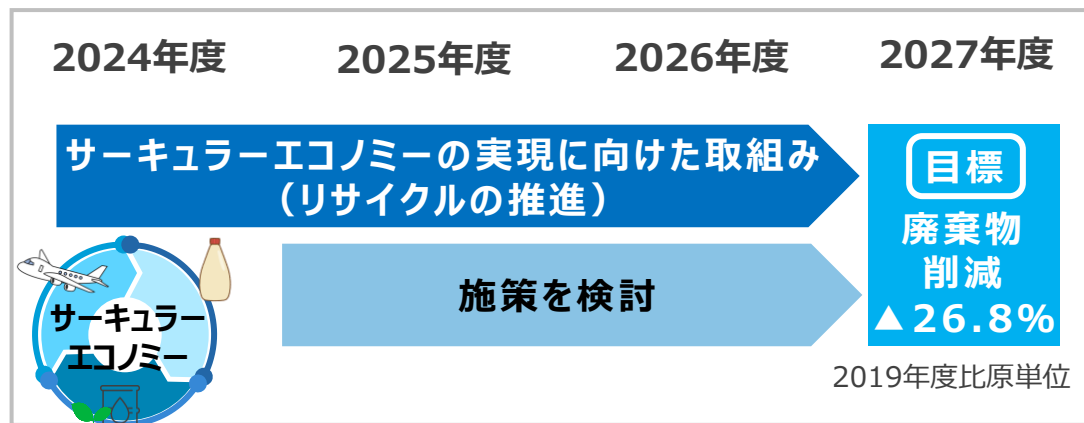
エネルギーの有効活用



サステナブル素材の活用



廃棄物削減



再生PPバンドの活用

商品カートンを
まとめる
PPバンド



100%再生原料に変更

CO₂排出量 約50%削減

卵殻を使用した取組み

卵殻配合の
植木鉢を制作



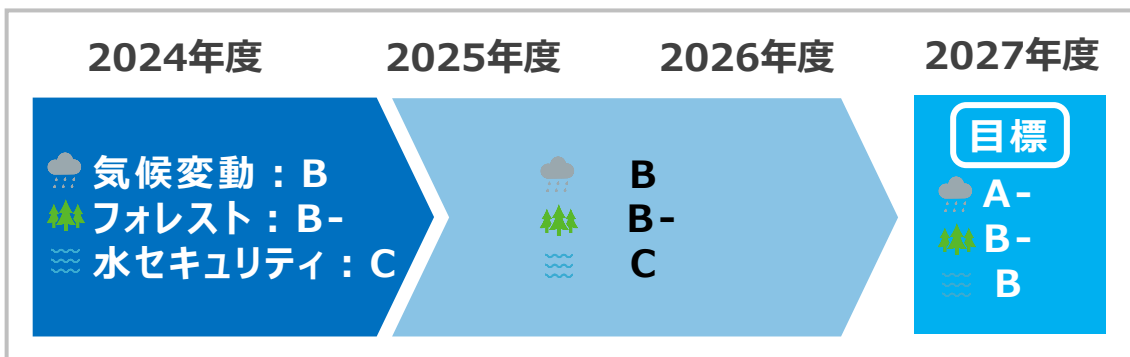
社内に向けて
栽培キットを配布

卵殻配合の箸と
トレーも作成



CDPスコア

気候変動に対する活動の強化



2025年度
18件の課題を解決

2027年度
34件の改善課題を実行予定

健康経営



IR活動

個人投資家向けIRの強化

- 個人投資家向け会社説明会参加 (2回)



2025年9月
日経・東証IRフェア
大会場・ブースにて
会社説明会開催

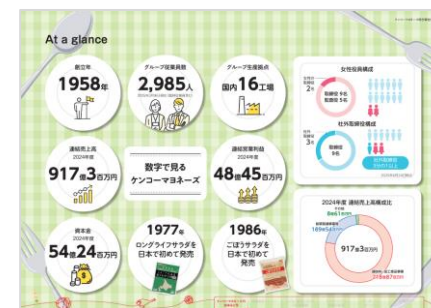


- メディア

『株主手帳』記事広告の掲載



統合報告書2025発行



▼ 統合報告書
はこちらから



キャッシュアロケーション



Phase1:2024~2027年度

キャッシュイン

キャッシュアウト

(単位：億円)

Phase1	戦略	目的	Phase1計画	2024年度実績	2025年度計画
営業CF※ 242億円	成長戦略 109億円	海外進出 (M&A含む)	38	0	2
		新規事業への投資	—	—	0
		システムへの投資	11	0	1
		事業拠点の強化	60	—	—
計			109	0	3
政策保有 株式売却 2億円	スマート化 86億円	事業拠点の再編・強化	48	1	9
		DXの推進等	38	8	3
		計	86	9	12
手元資金 45億円	人材投資 43億円	教育・人材育成施策	16	2	3
		エンゲージメント向上施策	27	0	11
		計	43	2	15
資金調達 101億円	サステナ ビリティと 社会的責任 51億円	株主還元	23	6	6
		資本政策	14	19	8
		ESGへの投資	14	0	2
計			51	27	17
合計			290	40	49

※営業利益見込+減価償却費

KENKO Vision 2035

持続的な成長のために **抜本的改革と企業価値の更なる向上**を目指す

成長戦略

スマート化

人材投資

サステナビリティと
社会的責任

Phase1 2024-2027
＜事業構造の改革＞

Phase2 2028-2031
＜再成長＞

Phase3 2032-2035
＜進化・発展＞

2027年度 目標

2035年度 目標

財務指標

連結売上高 1,020億円以上

連結営業利益 33億円以上

株主還元

DOE (株主資本配当率) 1.5%以上 (水準)

財務指標

連結売上高 1,250億円以上

連結営業利益 75億円以上

連結営業利益率 6%以上

ROE 8%以上

海外売上高比率 10%以上

株主還元

DOE (株主資本配当率) 2.5%以上 (水準)

- I R お問い合わせ

- 東京本社 : 東京都杉並区高井戸東3-8-13
- 担当者 : 経営企画室 経営管理部 IR課
- 電話 : 03-5941-7682
- E-mail : ir@kenkomayo.co.jp

- 将来見通しに関する注意事項

本資料は投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述は、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、皆様ご自身の判断と責任においてご利用されることを前提に提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。